



MG COLLECTION

受け継がれるもの



ボードレールとフランス近代詩コレクションより『悪の華』

一八五七年、詩集『悪の華』（初版）が発売された。並製本の価格は三フラン、今なら三千円くらいか。この詩集は、公衆道徳良俗紊乱びんらんの咎で断罪されるが、その後刊行された第二版『悪の華』は、詩人の死後、世界の文学地図を大きく塗り替える起爆剤となった。二〇二二年、その歴史的な書物『悪の華』（初版）が明治学院大学の図書館へとたどり着いた。今の市場価格では四百万円はくだらないだろう。常に手元不如意で、晩年は債権者たちから逃げ回ったボードレールがこのことを知ったらどう思うか。「商売は、その本質からして悪魔的だ」と毒づくか。ただ、これほど愛され、憎まれ、賞賛され、唾棄され、模倣され、翻訳され続けてきた詩集は世界でも珍しい。そう考えたら『悪の華』は四百万円でも安すぎないか。そのような問いに、ボードレールなら答えたであろう、「世の中は「誤解」によって動いているに過ぎない」と。しかし、何よりもその「誤解」の中で生きるのもまた悪くはないと教えてくれたのが『悪の華』ではないか。さらに不敵な笑みを浮かべて詩人は言うに違いない。「―偽善の読者よ、―わが同類、―わが兄弟よ！―と。」

（『悪の華』「読者へ」より）

文学部教授 畠山達